

# HEART2020 ▶▶▶ 2021年 2月18日(木)～3月7日(日)

今年14回目を迎えるHEART2020は、創始以来74年の歴史を誇る山口県美術展覧会を核として開催いたします。会期中は、美術館(美術)と街(日常生活)をつなぐためのイベントを企画し、「ものづくり」とそれを通じた「コミュニケーション」の楽しさや大切さを伝えていきます。

# 第74回 山口県美術展覧会 ▶▶▶ 2021年 2月18日(木)～3月7日(日)

休館日 2月22日(月) ※3月1日は **ファーストマンデー** のため開館

絵画・彫刻・陶芸といったジャンルの枠を超えて、自由な表現が魅力の山口県美展。展示室いっぱい創作意欲あふれる作品と共に、作家ご本人が制作の秘密を明かす「自作を語る」や、県美展作家たちの作品を販売するコーナー「アート・マーケット」も開催します。詳しくは、県美展要項か、美術館ホームページにてご確認ください。

観覧料 一般500(400)円 学生400(300)円

審査員 岩崎 貴宏(美術作家)

※時間指定・定員制(予約優先)。  
※( )内は20名以上の団体料金。  
※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。  
※障がい者手帳等をご持参の方と、その介護の方1名は無料。

松井 紫朗(彫刻家、京都市立芸術大学教授)

鷗田 めるろ(十和田市現代美術館館長)

特別展示 昨年度の大賞受賞者、津川奈菜氏による新作を展示します。



第73回山口県美術展覧会大賞受賞作品 津川奈菜(広島県) <Loop Town>

\*新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容を変更することがあります。予めご了承ください。変更が生じた際は、随時山口県立美術館ホームページ等でお知らせいたします。

## i 館内インフォメーション

### 県立美術館メンバーズクラブ 2020年度会員の有効期間を1年間延長します。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による鑑賞機会の減少や展覧会の開催状況等を踏まえ、7月末までにご入会の2020年度会員の有効期限を以下のとおり1年間延長させていただきます。

会員証は、2021年4月1日以降もそのままご利用いただけます。

\*ただし、来春新たに2021年度メンバーズクラブに入会される場合は、年会費が必要となります。

会員有効期限 当初：2021年3月31日まで ⇒ 変更後：2022年3月31日まで



Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 2020 - 2021

下半期の展覧会スケジュールを変更しています。今後も更に変更する可能性があります。最新情報は、当館ホームページをご確認ください。

## schedule 山口県立美術館 令和2年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
9月						全館休館【8/31(月)～9/14(月)】
10月					9/15(火)～10/18(日) 香月泰男 —私のシベリアI	9/15(火)～10/18(日) Distance —ディスタンス
11月		10/31(土)～12/21(月) 国宝「山水長巻」 デジタル映像展示			10/31(土)～12/21(月) 香月泰男 —私のシベリアII	10/31(土)～12/21(月) <雪舟600年>展
12月						全館休館【12/22(火)～1/8(金)】
1月			1/9(土)～2/21(日) 雲谷派の花鳥図		1/21(木)～24(日) 第73回 山口県学校美術展覧会	全館休館【1/28(木)～2/5(金)】
2月	1/9(土)～3/28(日) 顔・カオ・貌	1/9(土)～3/28(日) 香月泰男のシベリア・シリーズ	2/23(火・祝)～3/28(日) 森寛斎と森派の絵画		2/18(木)～3/7(日) 第74回 山口県美術展覧会	
3月						全館休館【3/29(月)～3/31(水)】

当初予定していた特別展「生誕600年記念 雪舟と狩野派」[小村雪岱スタイル]は、次年度以降に延期いたします。

### Information

展覧会は、時間指定・定員制(予約優先)です。当館ホームページからのご予約をお願いいたします。

#### ■休館日

月曜日 ※祝日・休日の場合は開館  
※ただし、**ファーストマンデー** 特別展開催中の(第1月曜日)は開館。  
年末年始 12月22日(火)～2021年1月8日(金)  
臨時休館 10月19日(月)～30日(金)、2021年1月28日(木)～2月5日(金)、3月29日(月)～31日(水)

#### ■開館時間

9:00～17:00(入場は16:00まで)

#### ■料金

コレクション展: 一般300円 学生200円  
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
※2020年度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の、法人サポーターズ会員の方は無料。  
※団体の受け入れを中止しています。  
特別展ほか: 別途定めた料金

f 美術館情報をFacebookで紹介しています。



山口県立美術館  
Yamaguchi Prefectural Art Museum  
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1  
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
https://www.yma-web.jp/

山口県立美術館ニュース「天花」第134号 令和2年9月発行

編集 指定管理者サントリー・パブリシティ・インサイバンスグループ 発行 山口県立美術館 印刷 櫻報社写真印刷株式会社

Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 134

Contents

コレクション展  
雲谷派の花鳥図

館蔵品による特別企画2

<雪舟600年>展

国宝「山水長巻」デジタル映像展示

下半期展覧会へのご案内

新館長着任インタビュー

HEART2020  
館内インフォメーション  
年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

## コレクション展

# 雲谷派の花鳥図

2021 1/9 日 - 2/21 日

表紙作品解説

雲谷等益

《芦鶴図屏風(右隻)》 寛永18年(1641) 紙本金地着色  
個人蔵(山口県立美術館寄託)

本作は芦の茂る川辺に群れる鶴を描く一対の金屏風で、作者は江戸時代初期に毛利家の御用絵師・雲谷派の二代目として活躍した雲谷等益(1591～1644)です。「鶴」といって私たちがすぐに頭に思い浮かべるのは、白く美しい羽衣と丹い頭に、印象的な黒い風切り羽を持つタンチョウでしょう。タンチョウは神聖な鳥あるいは瑞鳥として日本および中国において大切にされてきました。ここに描かれる鶴のうち何羽かは、そうしたタンチョウの特徴を示しているかのように見えます。しかし、黒い風切り羽がはっきりと見られないことなどから、黒や灰色の羽毛を持つナベヅルあるいはマナヅルとの混同があるように思われます。この屏風のように紙の上に金箔が押された屏風は金屏風といい、室町時代十五世紀の半ば頃から作られるようになったものと考えられています。文献に残る発生の期の金屏風の画題は松、竹、鶴といった吉祥なものがほとんどであり、またそうした金屏風を描くのはやまと絵(日本風の絵)を得意とする画家であったようです。緑青(緑色の絵の具)に彩られた土坡(小高く盛り上がった地面)はやまと絵によく描かれるモチーフであり、川面が青海波文様をもって表されていることから、この屏風がやまと絵の伝統的な描法に忠実に従っていることが理解されます。そのようにして見てくると面白なのが、図(右隻)の左端上部に描かれる半円形の「太陽」で、これを旭日(朝日)と見ることが出来れば、この屏風は「旭日鶴」という典型的な吉祥画として解釈が可能になります。

山口県立美術館 普及課長 荏開津 通彦



雲谷等益 《芦鶴図屏風(右隻)》 寛永18年(1641) 紙本金地着色 個人蔵(山口県立美術館寄託)

# なるべく、ご予約願います。 電話相談、受け付けます！

ウィズ・コロナにおける展覧会チケット販売・予約および今後のスケジュール変更について



予定を約1カ月半遅らせて開幕した「ハマスホイとデンマーク絵画」展（5月26日～6月7日）、そして予定通りに開催することができた「奇才」展（7月7日～8月30日）。「予定通り」とは書いたものの、そう書いた矢先、「やはり、全然、予定通りじゃないな」という気持ちガムクムクと湧き上がってきた。たしかに、「奇才」展に関しては、あらかじめ決めていたスケジュール通りに開催できたものの、そのこと以外は、残念ながら、年末のことまで含めすべて想定外である。

入館前の問診票・連絡先記入、検温、消毒。ソーシャル・ディスタンスを確保するための入場者数規制（「ハマスホイとデンマーク絵画」展は10分毎15人ずつの整理券配布。「奇才」展は30分毎60人ずつの事前予約）。様々な感染症対策をとったおかげなのか、幸いにも、山口県立美術館からは、観客および館内スタッフ含め、誰一人感染者は出していない（全国的にも美術館から感染者は出していない）。当館の厳格なシステムと運営方法は、地元マスコミでも何度も報じていただいたので、山口県立美術館ならば、安全に楽しむことができるというイメージはあると思う。「会場に入るまでがイライラさせられたけれども、いったん入ってしまえば、実に快適に作品を味わえた。これくらいが適正人数なのかもしれないね」等、多数ご意見をいただいた。ただし、その〈快適〉は観覧しているまさにその時のもの。観覧するまでが、どうも、心穏やかではられないのである。

「ハマスホイ」展の時には、整理券入手後、観覧までが3時間ということもあった（一番短い時で30分）。これはマズイということで、「奇才」展では時間指定・定員制（予約優先）に。しかし、これも、どうやら心理的にハードルが高い。当初は、チケット売場の混雑を避けるために、支払いも含めてすべてwebサイトで済ませていただくシステムであったが、「そんなコト無理！」というお電話を多数いただき、まずは、支払いは美術館でもできるように修正。予約に関するお問い合わせ専用ダイヤル（083-902-1007）も設けた。もちろん、空きがあれば、チケットカウンターでの当日券購入も可能である。それでも、「なんだか、面倒くさいわね」というお叱りが無くなることはない。おそらく、そうおっしゃらない迄も、心の中で唱えている方は本当に多数いらっしゃる様子。

しかし、誠に申し訳ありませんが、依然として、新型コロナウイルスも終息する気配がないため、これからも当分の間、大型特別展、コレクション（館蔵品）展問わず、時間指定・予約（優先）制といたします。

また、9月から12月にかけて予定していた「雪舟と狩野派」展および「小村雪岱」展の二つの大型特別展についても、万全の状態でご観覧いただくべく、開催を次年度以降に順延し、その間、館蔵品を紹介する小さな展覧会を新たに計4つ企画しました。小規模なものとはなりますが、「ディスタンス」展、「雪舟600年」展はじめ、IT技術を使った解説や展示工夫を凝らした「ウィズ・コロナ」における展覧会を模索します。なるべく、ご予約願います。

\*スケジュール詳細は、令和2年度年間スケジュールをご覧ください。

山口県立美術館 副館長兼学芸課長 河野 通孝

## 館蔵品による特別企画2

# 〈雪舟600年〉展

2020年 10月31日 土 - 12月21日 月

休 館 日 毎月曜日 ※ただし11/2・23、12/7・21は開館

今年は、日本絵画史を代表する水墨画家である雪舟等楊（1420～1506?）の生誕600年に当たる記念の年です。山口県立美術館では過去3年間にわたって毎年、この山口ゆかりの大画家・雪舟の画業を検証する展示を行って参りました。すなわち、新発見の「倣夏珪山水図」を紹介した《雪舟発見！展》（2017年）・作品の伝来という問題をテーマとした《山水図巻の謎展》（2018年）・若き日の大作〈騎獅文殊・黄初平・張果老図〉を中心とした《雪舟の仏画展》（2019年）です。本展では、これら3つの展示における主要な作品を改めてご紹介いたします。また、雪舟畢生の代表作である〈国宝・四季山水図（山水長巻）〉を展示する毛利博物館の「国宝展」（10月31日～12月21日）にあわせ、貴重な山水長巻の原寸大模写や、雲谷等顔（1547～1618）・雲谷等益（1591～1644）など、山水長巻に学んだ雲谷派の画家たちの優れた作品をご覧に入れます。



雪舟等楊 《騎獅文殊・黄初平・張果老図》 個人蔵（山口県立美術館寄託）



重要文化財 雪舟等楊 《山水図巻》 室町時代 山口県立美術館蔵

観 覧 料 一般800 (700) 円 シニア・学生700 (600) 円

※時間指定・定員制（予約優先）。  
※（ ）内は、オンライン決済の料金。  
※シニアは70歳以上の方。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
※2020年度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。  
※前売り券および団体割引券の販売はありません。

18歳以下無料

館蔵品特別企画「香月泰男「私の」シベリアⅡ」**「国宝「山水長巻」デジタル映像展示」**もあわせてご覧いただけます。

\*当初予定していた特別展「生誕600年記念 雪舟と狩野派」は、次年度以降に延期いたします。



雪舟等楊 《倣夏珪山水図》 室町時代 個人蔵（山口県立美術館寄託）

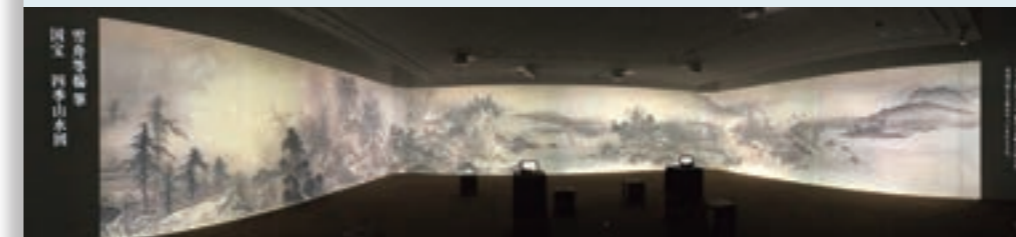
## 国宝「山水長巻」デジタル映像展示

2020年 10月31日 土 - 12月21日 月

休 館 日 毎月曜日  
※ただし11/2・23、12/7・21は開館

雪舟を堪能したい。そんな方には、何ととっても、国宝《四季山水図巻（山水長巻）》がおススメ。日本美術史を代表する名作なので、なかなか見ることができないと思われるかもしれませんが、これが意外に、毎年、確実に、絶対見られるのです。いつ、どこで？—毎年11月に開催される、毛利博物館（防府市）の「国宝」展で！ しかし、全長16メートルにも及びこの名作、水墨画に慣れない方が準備運動なしに見るのはちょっとハードかも。というわけで、山口県立美術館では、作品を7.5倍に拡大して3面に拡大投影し、上映時間10分で紹介しています（縦3×横30メートル、10分）。両方、ご覧になることをおすすめいたします。

\*今年度の毛利博物館（防府市）で開催される「国宝」展は、10月31日から12月21日まで。《四季山水図巻（山水長巻）》の展示は11月21日から12月21日まで



2019年の上映風景

# 上野 清館長 着任インタビュー



防府市生まれ。県商工労働部や総合政策部を経て、教育次長・総合企画部長を歴任。県信用保証協会会長を務めた後、2020年4月より県立美術館長に就任。

山口県立美術館は、令和2年4月1日より上野館長とともにスタートいたしました。5ヶ月経ったいまの館長の想いをご紹介します。

### ■ 館長に就任されて5ヶ月が経ちました。所感を願います。

素晴らしい芸術作品に触れて日々を過ごせることは大変ありがたいことです。就任早々の「ハマスホイとデンマーク絵画」展は、学芸員の大変な思いがこもった展覧会でした。作品の質も量も奇跡といってよい企画展であり、それを主催者として迎えられたことは光栄で、嬉しい限りです。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開幕が1ヶ月半遅れ、僅か13日の会期となりましたが、中味の濃い素晴らしい展覧会という高い評価をいただくことができました。一方、コロナ対策下の試行錯誤のなかで、皆さまに大変なご負担とストレスを与えながら鑑賞していただく形になりましたが、万全な感染防止対策のもとで、安心して鑑賞できたという評価も得られ、非常に嬉しく思っています。

### ■ 山口県美のよさを紹介するとしたら、どんなところでしょうか。

まず立地環境のよさ。行政施設と文化施設が集中しているところで、歴史ゾーン、文化ゾーン、文教ゾーンの中心地、しかも自然が綺麗なところ。パークロードはもちろん、エントランスから見る亀山の借景も見事です。収蔵品では、室町時代の雪舟から香月泰男まで、山口県ゆかりの作品を収蔵しており、郷土色豊かな美術館というのが特徴のひとつです。その上で、県美の一番の良さは、芸術文化の魅力を工夫を凝らして発信する企画展を積み重ねることにもあると思っています。

### ■ 読者の方々へのメッセージをお願いします。

コロナの影響で、美術館の運営も変わりつつあります。こうした時代だからこそ、本物に触れる、優れた芸術作品に触れる機会を提供していくといった美術館としての役割が大きくなっていくのではと思っています。広い空間をゆったり使った展示や、最先端の情報技術を使った展示など、コロナ禍における新しい美術館運営、鑑賞スタイルを模索し、提案していくことが必要と考えています。これからも、面白そうで見たいと思うような工夫や仕掛けに努めていきたいと思っています。どうぞお気軽に美術館に足を運んでください。

